

# ニュース

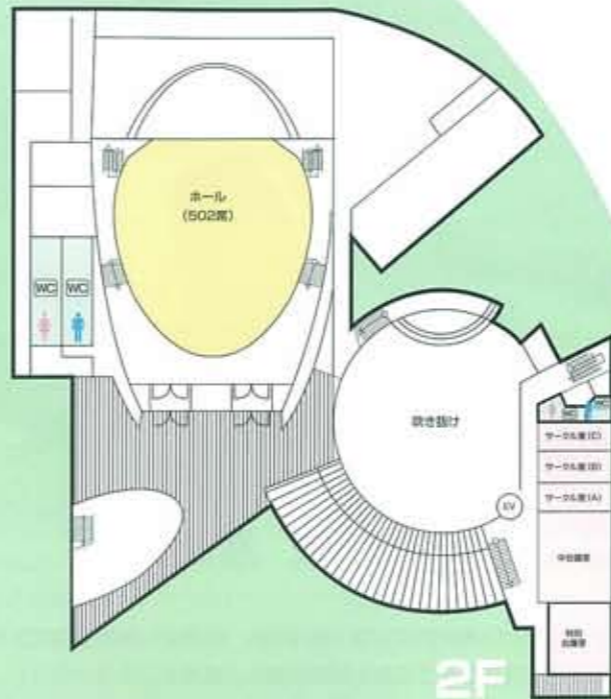
## 小野市うるおい交流館エクラの利用予約の申込受付がはじまりました!!



●ホール



●ハートフルサロン



### 各施設説明

- ※1年前より受付します。
- 1) ホール (400㎡) ……502名収容の本格的なホールです。
- 2) ハートフルサロン (620㎡) ……多目的に利用できるステージのある空間です。
- 3) 大会議室 (262㎡・定員144人) ……
- ※半年前より受付します。
- 4) 中会議室 (95㎡・定員36人) ……
- 5) 特別会議室 (67㎡・定員14人) ……
- 6) 楽屋 A, B, S
- 7) やすらぎ広場 (1,700㎡) ……屋外のイベントにどうぞ。
- 8) サークル室 (31㎡×3室) ……ちょっとした集まりにどうぞ。
- 9) スタジオ A (68㎡), B (30㎡), C (47㎡) ……スタジオ B はバンド対応です。

- ★開館時間 9時～22時  
※但し、スタジオについては24時。
- ★休館日 毎週火曜日(祝・祭りと重なる場合は翌日及び12月31日～1月3日)
- ★利用料金 北播磨市民活動支援センター事務局へお問い合わせください。

## 牛尾啓三さんのワークショップ開催

去る5月15日、6月19日、小野市うるおい交流館エクラに設置されるモニュメントを制作いただいている、彫刻家の牛尾啓三さんのアトリエにて現場見学会とワークショップが行われました。

牛尾啓三さんは、明石海峡大橋・舞子公園のモニュメントの制作者です。

5月15日は、小学校4～6年生を中心に、モニュメント制作過程で切り落とされた石を使い、各自が思い思いの彫刻に挑みました。

第2回の6月19日には小学校1～3年生を中心に、同じく切り落とされた石にアクリル絵の具のペインティングを体験しました。



## ●新たなライフスタイルの創造

新たなライフスタイルの創造を目指し、一大プロジェクトによる「NPO 法人北播磨市民活動支援センター」が誕生し、当初の活動から一年が経過しました。《兵庫県は芸術県!》とも言われますが、活動の拠点となる場の確保、高使用料金、情報発信等、活動への妨げとなる負担も大きなものです。夢を共有し、文化を築いていくことは街の誇りであり、社会の活力となっていきます。しかし、理想は描けても実現化していく過程で、地域との関わりの中にどのような道具立てが必要とされていくのか。

ここに我々の目指す活動が、NPO 法人格を取得し、行政とのパイプとなる中間支援団体として、その管理運営全般を担うことは、時代のニーズに要求されたものであり、市民による市民のための活動の場となれば、今後の芸術文化創生への新たな改革の励みとなる事でしょう。

優美な曲線を描いて、建物の全容が見えて来ました。今は大きなた

の空間であっても、人と地域を結ぶ公用空間として、街の中で呼吸し、活かされた活用をしていくことで建物が呼吸していきます。街全体が一つの生活空間となるべく、地域コミュニティの形成に努めねばなりません。最近、「日本の若者事情」について、ある記事を目にしました。「近所づきあいを遮断し、家族という限られた小宇宙の中だけの生活をする、閉鎖的な生活習慣を送っている家庭の子どもたちは、均質的な友人関係だけで成長するために、社会のルールを学ぶ機会がないまま大人になり、地域共同体員という意識がない。更に、核家族に拘禁されて、精神的離乳も遅れている」と、いうものです。地域社会を基盤とする多様な人間関係の構築は、人間形成が出来る幼少期から培われるものであるからと…昔はあったはずの《町内のきずな》が今、見直されているのです。「小野市うるおい交流館エクラ」が北播磨圏の核となり、そこに集う異年齢の人たちとのふれあいの中で、子どもたちも含めた、あらゆる世代の交流文化が広がっていき、すばらしい地域共同体が生まれていくことを今後期待いたします。

副理事長 井土裕子

## ●新たな出会いと感動の場誕生に向けて

昨年4月、たったひとり机に向かいスタートした事務局。これから始まる事への不安と期待。あれから1年半。この間に出会った人の数は、私の人生の中でも突出しています。自分の住む町の事を真剣に考え、愛し、活動する人がたくさんおられ、出会いの数以上に感動あり、驚きありの日々。同じ時代に生き、同じ北播磨地域に住んでいても、互いに見知らぬままであったかもしれない人達との出会いに不思議な運命の糸を感じています。

「小野市うるおい交流館エクラ」という新たな出会いの場がまもなく誕生しようとしています。どんな出会いがあり、どんな出来事が待っているのか…。現在、人材バンク登録者数約170名。年齢層は40歳台後半の方が多く、7割近くが女性です。今後は、10代～20代の若い方たちや男性の登録者を増やすことが課題です。

ある日、人材バンク登録にこんな方が来られました。今まで会社人間で、いざ定年を迎える時時間をどう使えばいいのか、地域とどう関わればいいのか途方に暮れ、「とにかく、何か出来る事はありますか。毎日何をしたらいいのかかわからない。」と悲痛な面持ちで来られた男性。毎日ネクタイを締めバリバリと働く日々から解放された時、ゆっくりと老

後を楽しむどころか、心は路頭に迷っているという風でした。こんなに素敵な男性が、定年後の2～30年の人生に生き甲斐を見出せず暗い目をしている。とても残念で悲しいことです。2050年には、65歳以上の国民が4割を占めるとか。そんなにたくさんの高齢者がいきいきとしていなければ、子どもたちが、夢や希望を抱けるはずがありません。年齢を重ねることもなかなか素敵。♪明日がある!と思ってもらえる世の中を輩たちにプレゼントしたい。支援センターは、そんな生きがい作り、感動作りの場でありたいと考えます。100人いれば100通り、支援センターや交流館への想いがあるはず。みんな違って当たり前。だからこそ、おもしろい!だからこそ、課題も山積み!? 支援センターと一緒に育て、うるおい交流館エクラに熱い想いを吹き込んで下さい。性別や年齢、行政区分を超えた新時代のご近所づきあいの場となることを願い、どんな風に利用していただけるのか想定しながら、事務局も猛スピードで準備を進めています。想定外のことにどれだけ柔軟に対応できるかが一番難関ですが、事務局一同ところを合わせ歩んでまいります。ぜひ、みなさんの興味のあること、やってみたいことをお聞かせ下さい。そして、それを実現するための「協働」をお願いします。

事務局長 向山良子